

俳句

〔桜川市岩瀬「秋」俳句会〕

シャンソンを鼻唄にして春耕す 小林 啓治  
 母想ひ妻を想ひて菜飯炊く 荻原 勅彦  
 青空に辛夷は錆を深めけり 三代みちよ  
 木の芽風頼なでてゆく万歩計 入山ひろ子  
 娘と登る墓山水仙雪柳 若色寿美女  
 表札の残る空家の沈丁花 金田とう女  
 約束の日の二重丸取り替える 細谷 充女  
 花筏夢を彩る岸部宿 永瀬 ちい  
 静寂な花の中なる葉師堂 齋藤 みよ  
 陽炎や農に転機の兆しあり 萩原きしの

〔茂山俳句会〕

ジーンズの穴もファッション風光る笠倉 陽子  
 鳥帰る避けて通れぬこと多し 海老沢静夫  
 鳥帰るゆくての空の雲厚き 大関 くに  
 無事祈る海原千里鳥帰る 宮本 芳江  
 空に舞ひ瓦礫見下ろす鯉のぼり 松崎 いま  
 上曾越ゆ木五倍子の花に触れもして 吉原 京子

春昼や夫から妻へ大欠伸

竹林 てる

桜咲き静かに老いてゆく如し

鈴木ノブ子

日にやさし風に綾なす糸柳

田崎 信子

生温き風に揺らぎし蛸蚪の紐

今井 繁子

震災のまだ帰れずに鳥帰る

植田 祥雲

海原のうねり輝く涅槃西風

海老沢幸子

坂のぼり下る坂町桃の花

吉原 秀子

つくば野に農機のひびき山笑う

金子 弘毅

また覚めて八十路の春の夢見かな 君島真理子

烈公の書へ山茱萸の花明り 飯山 昭

〔一般投稿〕

そよ風とさくらサクラ散歩道

友常こちよう

短歌

〔やまと早蕨歌会〕

屋根裏に巣を作ろうと懸命に出来ずあきらめ  
 帰るつばくろ 榎戸 栄子

ひさびさの眠れぬ夜をもてあまし戸外を見れば  
 桜明るし 木藤 とみ

俚謡

〔さくら俚謡会〕

新緑のみみじ小枝を折りさして逝きし友らを  
 語りつづけし 佐藤 悦子

筑波嶺の芽吹き彩の影や夕日に映えてあかね色  
 増す春紅葉かな 田中 きみ

満開の牡丹の花を洋皿に盛りてながめし今し  
 崩れむ 中原すみ子

吹く風にさみどりの山波うてり 可視光線を  
 放てるごとし 中島 龍子

鬼怒川の疾き流れに竿をふり鮎釣る夫のたく  
 ましかりき日 北条 正子

さきがけの火の匂いして渡良瀬の卯月の風は  
 肩をなでゆく 皆川 米子

筑波遠足あの日を思う今は年寄り仰ぐだけ  
 岩瀬きみ子

口を大きく開いて待てば腹も膨む鯉織り  
 つく志輝美

愛のよろこび初めて知った花の匂いと朧月  
 一木みどり

おかめ顔だが気はおだやかなかあの産地は  
 米どころ 稲葉 建正

田植えするにも燃費は値上げアベノミクスに  
 泣かされる 田 哲人

5月27日(月)  
 市長と話してみませんか?  
 ～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話ししてみませんか。話題はなんでも結構です。

- 時 間／9時～12時・13時～16時
- 場 所／市役所 大和庁舎 1階談話室
- 問合先／秘書広報課 (☎58-5111・75-3111代表)